



授業再開 任期終了までラストスパート！

夏休みが終わり、授業が再開しました！授業も残すところ1ヶ月となり、子供たちと過ごす時間も残りわずかとなりました。最後まで、日本語や日本文化を通して、いろんなことを一緒に学んでいます！



▲3月のピンポン大会に向けて、猛練習!! ▼作文練習!



▲ひらがなババ抜きはすごい盛り上がりです!!



★卒業制作というわけではないですが、最後の記念にプラ板でキーホルダーを作りました!それぞれ好きなキャラクターや絵を描きました。大きく描いたものが縮むことにびっくりしていました!



最後の教師会！ ノロエステ＆第3地区



ノロエステ地区（プロミッソン校、リンス校、アラサツバ校、第1・2・3アリアンサ校、ミランドポリス高岡校）と第3地区（第1・2・3アリアンサ校、ミランドポリス高岡校）の教師会を通して、かけがえのない大切な教師仲間と出会いました！約2年間のあいだ、第3アリアンサ日本語学校では1人で授業や学校運営を行ってききましたが、様々な行事ではこの教師会が中心となり、有意義な活動に取り組むことができました。会議は2ヶ月に1回と、頻りに集まれるわけではないですが、行事の大切な話から、日本やブラジルの他愛もない話など、いつも楽しい時間を過ごしました。日本では、たくさんの同僚や仲間がいることが当たり前ですが、異国の地で1人で悩む時間が多い中で、この教師会があったことはとても心の救いとなりました。改めて、仲間の大切さを身に染みて感じられたことは、今後の教員人生にしっかりと生かしていきたいと思えます。そして、ブラジルの日系社会においても、日本語学校がこのような教師会を組織し、研修会等も行いながら、日本語学校の充実を図っていることも、ぜひ多くの方に知っていただきたいとも思いました。教師が替わっても、教師会が残り続け、今後も「ここでしかできない教育」を続けていってほしいです。いろんな場所で、教育を向上させようとしているこの状況は、本当に素晴らしいことです。教育の素晴らしさと面白さをより感じさせてもらえたことに感謝です。3月には私を含め3人の教師が任期を終え、帰国します。また新たな先生がやってきて、新たな風を吹かせて、教師会が活気あふれる場所になることを願っています。

編集後記



「慣れたときには、もう終わり」

最近、会う人会う人にこんな風に言われます。でも、本当にその通りです。一通りの授業や行事ができるようになり、ポルトガル語もわかり始めたころに、気が付けば、任期の終わりが目の前に迫っていました。出来たことはわずかしかなかったかもしれませんが、そのわずかをもう少しでも増やせるように、任期終了まで頑張っていきます！教育は常に一発勝負！